

代表質問

11月定例会では、六会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にくっつかを取り上げて、要旨を掲載します。

政隆会

政令指定都市実現に向けて 構想を推進

問 市民福祉の向上と市勢発展に向け、政令指定都市・岡山の実現への決意は。

答 政令市へ移行すると、権限と財源が増え、自らの意思でまちづくりを行うことができ、都市イメージも向上する。地方分権が進展し、市民に最も身近な基礎自治体としての役割が一層重要視される中、市民福祉をさらに高めるとともに、将来の道州制の下での州都への布石として政令市構想を推進したい。

市行財政改革大綱(仮称)

問 市長が公約で掲げた今後の市政の短期ビジョン、中長期ビジョンの策定において、行財政改革の位置付けは。

答 国から求められている集中改革プランの内容に従い、現

在の新行財政改革プランを拡充・発展させた行財政改革大綱(仮称)を策定したい。大綱は短期と長期の計画とし、短期計画編は平成17年度中に策定予定で、これを短期ビジョンの一つと位置付け、長期計画編は、別途作成するまちづくりの中長期ビジョンとの連携を図り、両者が有機的に機能するよう策定したい。

国際友好交流都市 経済界とも連携し交流

問 台湾の新竹市など六国国際友好交流都市との今後の交流について、本市の考えは。

答 これまでの市民交流の促進に加え、各都市の産業面の特色などに焦点を当て、経済界等とも連携し経済活動の活性化につながる交流を進めたい。新竹市については、現在、職員の相互派遣事業の最終事務調整を行っており、市民訪問団についても平成18年度の実施を検討したい。また、同市には理工系大学等の学術研究機関や三百社を超えるハイテク企業が進出するサイエンスパークがあり、本市経

済界との交流の可能性も探りたい。



子どもの安心・安全対策

問 児童が登下校時に襲われる事件が続発しているが、子どもの安心・安全の確保に向けた取り組みは。

答 警察等の専門機関や学校間の連携、PTAの見守りや地域のボランティア団体の巡視活動により安全確保に努めている。

公明党

行政の事業仕分け 平成17年度中に試行

問 無駄を省き歳出を削減するため、行政の仕事を洗い直す事業仕分けの推進を。

答 現行事業が市民ニーズに合致しているのかどうかの点検は行財政改革の出発点と考える。廃止、再編等すべき事業を洗い出す有効な手法であり、改良を加え平成17年度中の試行を目指し、全庁をあげて取り組みたい。

観光客誘致に向け 西川緑道公園を活用

問 西川緑道公園にテーマパークの要素を加え、観光対策に活用する考えは。

答 周辺のにぎわい創出と公園の再整備との一体的な計画作りを地元住民等と協働で検討する前段として、庁内にワーキンググループを結成した。緑道一帯の魅力向上で生まれる新たな

今後、校・園長やPTAの代表と対応策を練るとともに、学校や保護者、地域住民、関係機関が情報を共有し、一体となつて行動できるよう一層強固なネットワークを早急に再構築したい。



にぎわいと文化を全国に発信することで、岡山を訪れるファンの増加につながるものと考えている。

乳幼児医療費助成 就学前まで引き上げを検討

問 乳幼児医療費助成の就学前までの引き上げに向け、予算確保等、今後の見通しは。

答 厳しい財政状況ではあるが、早期実現に向け検討中だ。現在、五分の一の県の補助率が県内他市町村並みの二分の一に還元されれば、年間一億五千万円余の負担軽減となるため、同じ問題を抱える倉敷市とも連携し、県に対し強く働きかけたい。